



## 林野火災への迅速な対応のために

林野火災防ぎよ訓練

春季火災予防運動の一環として、3月1日に林野火災防ぎよ訓練を実施しました。訓練は、山林からの出火が広範囲に延焼する事態を想定し、午前と午後の2回に分けて行いました。



▲放水訓練を行う消防団員

午前には福津市・宗像市の両消防団と宗像地区消防本部が合同で本木の三築区池周辺で実施しました。午後の部では、福津市消防団から7つの分団が、ため池や防火水槽から水をくみ上げ、ポンプ車で中継しながら送水しました。さらに、持ち運び可能な小型ポンプを使い、火の発生地点へ放水するまでの一連の動作を本番さながらの緊張感の中で確認。日々の訓練の成果や、各機関の連携を確認する貴重な機会となりました。

部が合同で許斐山登山口周辺、午後は福津市消防団と宗像地区消防本部が合同で本木の三築区池周辺で実施しました。午後の部では、福津市消防団から7つの分団が、ため池や防火水槽から水をくみ上げ、ポンプ車で中継しながら送水しました。さらに、持ち運び可能な小型ポンプを使い、火の発生地点へ放水するまでの一連の動作を本番さながらの緊張感の中で確認。日々の訓練の成果や、各機関の連携を確認する貴重な機会となりました。

## スポーツ指導者の質の確保へ

ジュニアスポーツの環境整備に向けた連携協定

市、県、福岡県スポーツ協会、日本スポーツ協会の4者は、子どもたちが安心してスポーツに取り組める環境を作るため、2月1日に連携協定を結びました。

この協定は、指導者の質の確保を個人の善意や努力に委ねるのではなく、日本スポーツ協会が認める公認資格を基準として保証する全国初の仕組みです。4者はそれぞれの立場を生かし、講習の準備や制度作りを進め、子どもたちが安心してスポーツを続けられる環境を目指します。



▲協定に基づき4者の専門性と立場を生かします

## 環境活動の当事者意識を

ふくつ環境シンポジウム

「自然保全活動の自治」をテーマにしたふくつ環境シンポジウムを、3月7日にくつとびあいで開催しました。

第1部では「山結び」という自然環境再生プロジェクトを行うNPO法人SOM Aの瀬戸昌宣さんと三反田潤さんが登壇し、環境活動の自治などについて、市うみがめ課職員と議論を展開。「山結びの参加者にとって宮地山は自分の山。そのように当事者意識を持たなければ活動は続かない」といった話をしていました。

第2部では参加者のグループトークを行い、福津の未来をともに考えました。



▲環境活動の自治について話す瀬戸さん(右)

## 菜の花咲き乱れる古墳会場が大盛況

第10回ふくつの古墳まつり

第10回ふくつの古墳まつりが、3月8日に開催されました。新原・奴山古墳群には菜の花が咲き乱れ、古墳群を巡るミニガイドツアーやクイズ大会で楽しみながら知識を深めたり、シャボン玉ショーや和太鼓の演奏が行われたりと、大にぎわい。一般社団法人ふくつ観光協会の増田美佐子さんは「天気も良かった皆さんの人が来てくれた良かった」と話しました。



▲古墳をバックにしたシャボン玉ショー

## 市と光陵高校の長期的な協力関係へ

市と光陵高校との連携協定

「福津市と福岡県立光陵高等学校との連携協力に関する基本協定書」の締結式を、2月26日に行いました。

この協定は、今まで個別に行ってきた連携を継続させることが目的。光陵高校の溝田校長は「ボランティア活動や探究活動などをさらに充実させたり、部活動などで市に貢献したりできることが多くあるのでは」と話しました。



▲市長、教育長、校長が協定書に調印しました

## 新しい地域自治への挑戦

「地域創生PBL」現地報告会

福岡工業大学の学生による「地域創生PBL」現地報告会を、2月10日に市立図書館で開催しました。地域創生PBLとは、地方創生の現状を現地で学び、課題解決に向けた企画を立案する実践型の授業です。今年度は4グループが福岡地域・福岡南地域の課題解決策を立案しました。

報告会では、子どもたちが楽しみながら防災を学べるカードゲームの企画や、地域活動に参加しやすい仕組み作り、eスポーツを活用した交流など、学生ならではの視点が光る内容が並びました。



▲カードゲームの説明をする福岡工業大学の学生

～地元の素材を生かしたお手軽レシピを広報ボランティアの櫻井さんが独自の視点で紹介～

## 産品クッキング【新玉ねぎとトマトの血液サラサラダ】

※紹介する材料は時期や時間によって買えない場合があります

### 【作り方】

- ①新玉ねぎの薄い皮を取り半分に切る。半分をスライスする。
- ②中玉トマト2個のヘタを取り、くし形で四分の一にカットする。
- ③器に盛り付け、かいわれ大根を青みに少しちらす。
- ④かつお節をふりかける。
- ⑤ポン酢にお好みでマスタードを溶かして回しかける。

### まめ知識

新玉ねぎの葉の部分は深ねぎのようにすき焼きに使ってもOK! 生産者の真心が込められたトマトは4～6月がおいしく、水を与え過ぎずに育てることで甘みを引き出しています。

かつお節がほぐれたときの風味と新玉ねぎの爽やかな食感、果物のような甘さのトマトが何ともいえません。たれにマスタードを加えることでフルーティーなポン酢にピリリとアクセントが効いていました。



※レシピ提供・取材協力 あんずの里市利用組合